

令和 4 年度定例会 12 月会議開会挨拶（令和 4 年 12 月 8 日）

令和 4 年度定例会 12 月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

11 月 1 日、議会基本条例諮問会議から受けた令和 4 年度答申の内容は、基本条例見直しの行動計画推進については、適正に行われていると認知し、議会評価については、水準に足していない事項について、改善方策の検討を望むとし、常任委員会所管調査については、内容を確認していただき、次期改選期に向けて検討する、議員定数については現状維持、歳費については、現状の方式を基本とし、なり手不足対策等の視点から増額を検討し、町民へ説明をし理解を得るべきとの答申を頂きました。

答申を受けて、議員定数・歳費については、全員協議会、議会運営委員会で検討の結果、特別委員会を設置し議会としての方向性を決定し、町民の皆様へ説明する機会を設定して行きたいと考えております。

11 月 9 日開催の第 66 回町村議会議長全国大会は、新型コロナウイルス感染症発症以来、3 年ぶりの通常開催となりました。今年度のスローガンとして、

- ・新型コロナウイルス感染症対策、経済対策の強化
- ・地方交付税等の一般財源総額の確保充実
- ・長期的な復興支援と災害対策の確立等を掲げ、

令和 5 年度予算編成にあたって、具体的な 28 項目の要望を決議しました。

地方町村の現状は、人口減少社会の到来、過疎高齢化、大規模自然災害、新型コロナウイルス感染症拡大等が深刻な問題となっており、自主財源不足の解消も難しく、増大する役割に迅速・的確に対応しなければならない厳しい状況下で、諸問題解決に向け、議会の機能強化、多様な人材の参画を目指す環境整備に向けた強力な取り組み等が必要であると、我々議会人が、一致結束し、果敢に行動していくことを誓うと宣言しております。

「議会の機能強化、多様な人材が参画する環境整備」については、

- ・地方議会議員の位置付け、権限の明確化
- ・地方議会議員の職務等の明確化
- ・議会と町村長の関係の見直し
- ・低額な議員報酬の改善等 18 項目の具体的実現を目指し特別決議をしております。

福島町議会としても、宣言・決議の主旨をしっかり受け止め、厳しい状況を勘案し、より一層研鑽に励み、活発な議会活動を推進しなければなりません。

師走となり、寒さも一段と厳しくなってきました。出席者各位には、お体ご自愛の上、本 12 月会議もまた、活発な討議が展開されます事を期待し、議事運営に協力をいただきますよう、お願い申し上げ、開会の挨拶といたします。